DAINICHI

正しく使って
上手に節約！

取扱説明書

ブルーヒーター

エフ ダブリュー　エル エックス

FW-376LX
FW-476LX
FW-576LX

目次

保証書別添付

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、保証書と共に大切に保管してください。

製品アンケートへのご協力をお願いします
（ご回答はインターネットのみとなります）
回答専用アドレス
http://www.dainichi-net.co.jp/hagaki/
※通信料はお客様のご負担となります。

ご使用前
安全のために必ずお守りください…… 1
各部のなまえ…… 5
使用する場所…… 9
使用前の準備…… 10

使用方法
運転を開始するとき…… 15
運転を停止するとき…… 16
設定温度を上げるとき・下げるとき…… 17
チャイルドロックを使用するとき…… 18
運転を延長・継続するとき…… 19
現在時刻を合わせるとき…… 20
タイマー運転を使用するとき…… 21

点検・その他
日常の点検・手入れのしかた…… 23
保管（長期間使用しないとき）・廃棄のしかた…… 25
故障・異常の見分けかたと処置のしかた…… 26
部品交換のしかた…… 29
部品のご注文のしかた…… 29
定期点検のおすすめ…… 29
仕様…… 30
保証とアフターサービス…… 30

［強制通気形開放式石油ストーブ］

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の３段階に区分しています。

区分	内容
⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。

このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

⚠危険(DANGER)

ガソリン使用禁止

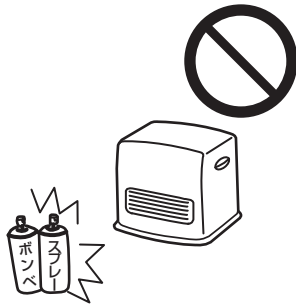
ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

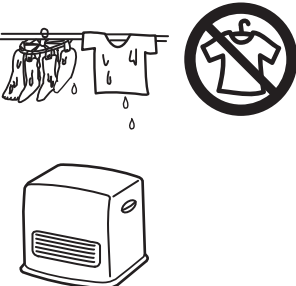
⚠警告(WARNING)

換気必要

換気せずに使用を続けないでください。
酸素が不足すると不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。また、乳幼児や呼吸器疾患などの方は、体調不良になるおそれがあります。
換気は、換気扇を使用したり、窓や戸などを２カ所以上開けると効率良く行えます。
窓の凍結、地下室など換気が十分に行えない場所では使用しないでください。

スプレー缶厳禁

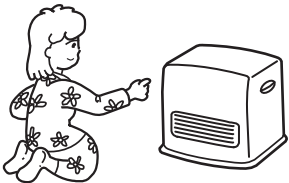
スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

衣類の乾燥厳禁

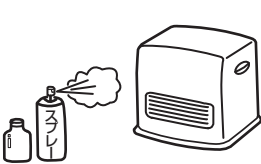
衣類などの乾燥には使用しないでください。
衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。

⚠警告(WARNING)

温風吹出口をふさがない

衣類、紙などで温風吹出口や燃焼・温風空気取入口をふさがないでください。また、ストーブガードをご使用のときは、囲いに干し物を掛けたりしないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。

寝るとき消火

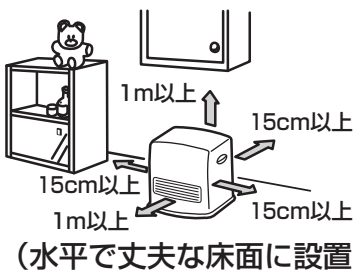
寝るときや外出するときは、必ず消火してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

可燃性ガス使用厳禁

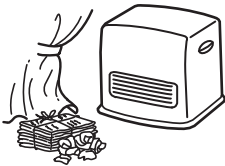
ファンヒーターを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの(ベンジン、シンナー)、スプレーを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

⚠注意(CAUTION)

1 設置

可燃物との距離を離す

図に示すファンヒーターの周囲には可燃物や障害物を置かないでください。
火災の原因になります。

(水平で丈夫な床面に設置)

カーテン、寝具など可燃物近接禁止

カーテン、布団、毛布など燃えやすいもののそばなどでは使用しないでください。
火災が発生するおそれがあります。
可燃物から離す距離は、左項の「可燃物との距離を離す」に従ってください。

次の場所では使用しない

火災や予想しない事故の原因になります。

- ○振動の激しい場所
- ○水平でない場所、不安定な場所
- ○不安定な物をのせた棚などの下
- ○風のあたる場所、部屋の出入口、屋外
- ○人のいない場所、人があたたまる目的以外での場所(温室、飼育室など)
- ○可燃性ガスの発生する場所、またはたまる場所

火災の原因になります。

- ○窓の凍結などのため、換気が十分に行えない場所
- ○暖炉や押し入れなど、ファンヒーターが囲われる場所
- ○ほこり・湿気・金属粉の多い場所
- ○標高1,000m以上の高地

不完全燃焼の原因になります。

- ○直射日光のあたる場所
- ○理・美容院、クリーニング店、はんだ付け作業所、メッキ・塗装工場などスプレーや化学薬品を使う場所

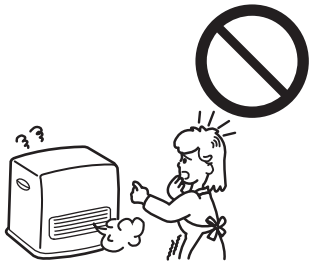
故障や予想しない事故が発生する原因になります。

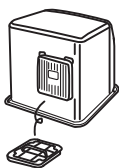
安全のために必ずお守りください

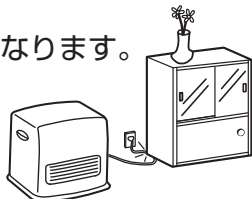
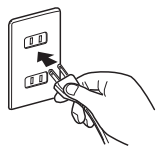
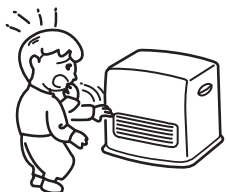
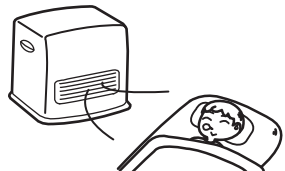
⚠注意(CAUTION)

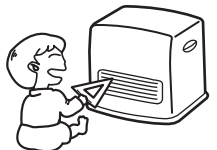
2 使用時

移動するときの注意
ファンヒーターを移動するときは、火を消してカートリッジタンクを取り出し、傾けないように静かに運んでください。
灯油がこぼれると火災の原因になります。

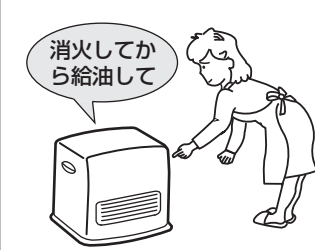
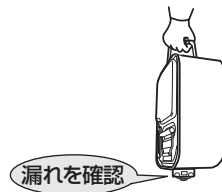
異常時使用禁止
臭い、すすの発生、炎の色など異常を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

運搬するときの注意
ファンヒーターを運搬するときは、カートリッジタンク・油受皿内の灯油を抜いてください。
運搬の途中で灯油がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。

ファンフィルターは必ず使用
ファンフィルターを取り外した状態で使用しないでください。
内部にほこりがたまり、異常燃焼の原因になります。

シリコーン配合商品を使用しない
ファンヒーターの故障の原因となることが表示されているヘアケア商品などは、シリコーンが配合されています。ファンヒーターと同時に使用しないでください。また、注意表示がなくてもシリコーンが配合されている商品(化粧品類、衣類の防水剤・柔軟剤、家具などのつや出し剤・保護剤など)も同時使用は控えてください。やむなくご使用になるときは、ファンヒーターの運転を一時的に停止し、使用後は、換気を十分に行なってから運転を再開してください。
異常燃焼のおそれや、着火ミスや途中消火、換気サイン点滅の原因になります。
シリコーン配合商品が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。

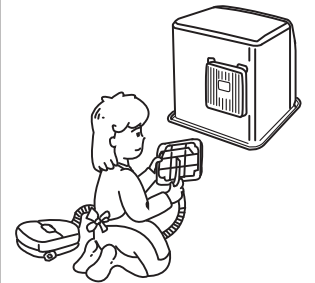
電源コードを傷めない
電源コードに無理な力を加えたり、重い物をのせないでください。また、高温部に近づけたり、束ねたまま使用しないでください。
電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。
ぬれた手での抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。

高温部接触禁止
燃焼中や消火直後は温風吹出口に手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。

温風に直接あたらない
温風に直接長時間あたらないでください。特にお子様や、病気の方などがご使用のときは注意してください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

本体内に指や異物を入れない
温風吹出口や燃焼・温風空気取入口に指や可燃物・針金などの異物を入れないでください。
けがややけどを負ったり、火災・感電の原因になります。

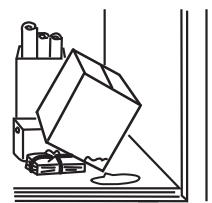
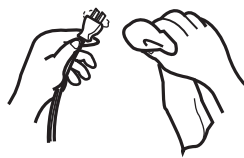
ご使用前　安全のために必ずお守りください

⚠注意(CAUTION)

3 給油時

給油時消火
火災のおそれがありますので、給油は必ず消火し、火の気のないところで行なってください。

油漏れ確認
口金は確実に閉めてください。口金を下にして油漏れがないことを確かめてください。
口金を斜めに閉めたりすると簡単に口金が外れて、火災のおそれがあります。

変質灯油使用禁止
変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油など)を使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

4 点検・手入れ・保管・廃棄

ほこりの除去
ファンフィルターは週に1回以上必ず掃除してください。
ごみ、ほこりなどが付着すると異常燃焼のおそれがあります。

分解修理・改造の禁止
故障・破損したら、使用しないでください。また、お客様自身による修理や改造、分解はしないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

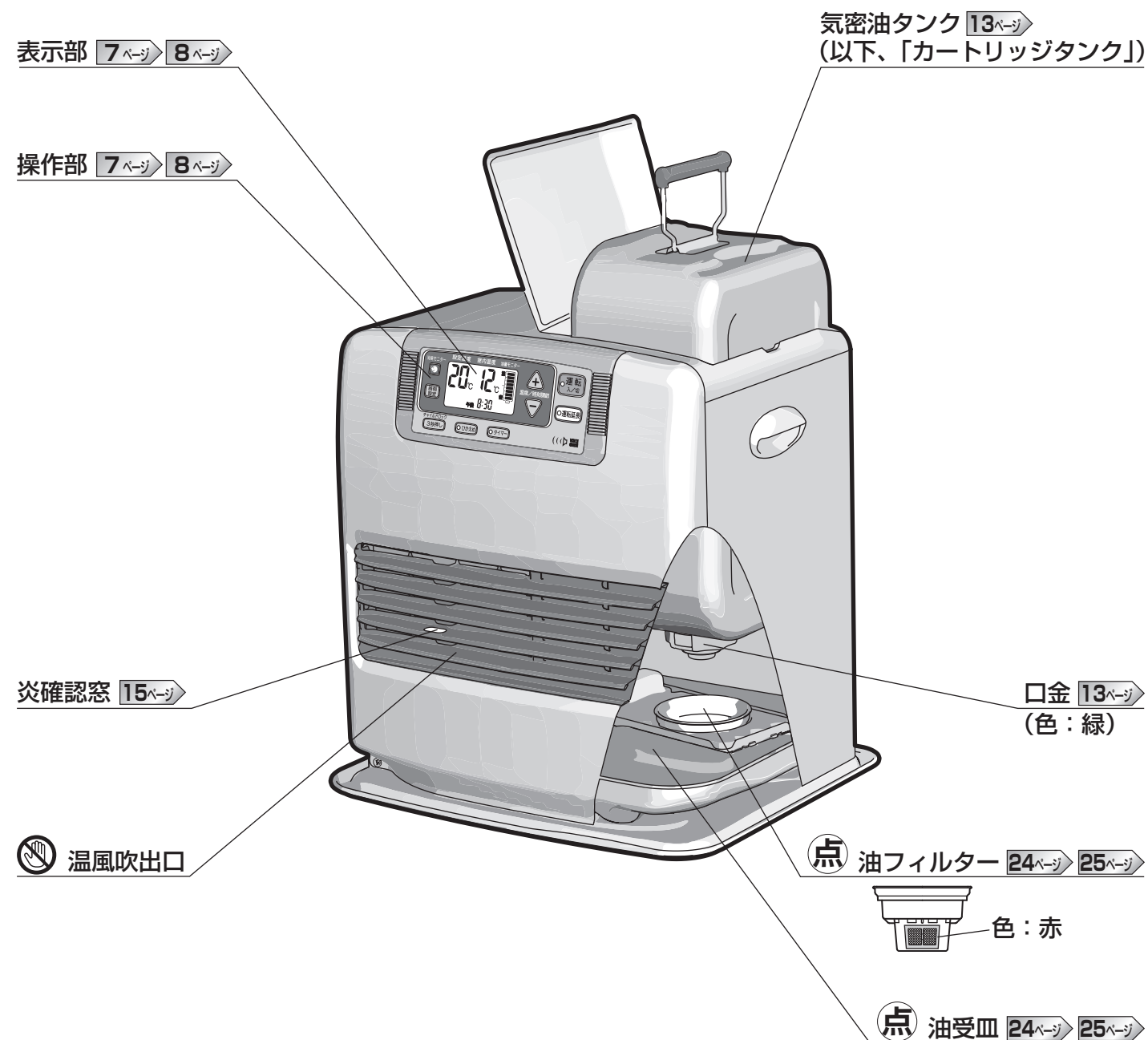
保管時にしていただくこと
長期間使用しないときや、保管するときは、必ずカートリッジタンク・油受皿内の灯油を抜き、傾けたり横倒しの状態で保管しないでください。
火災のおそれがあります。

電源プラグのお手入れをする
ときどきは電源プラグを抜き、ほこりや金属物を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。

廃棄するとき
ファンヒーターを廃棄処分するときは、必ずカートリッジタンク・油受皿内の灯油を市販の給油ポンプなどで抜いてください。25ページ
灯油が入ったまま廃棄すると、リサイクルの際、思わぬ事故になるおそれがあります。

ご使用前　安全のために必ずお守りください

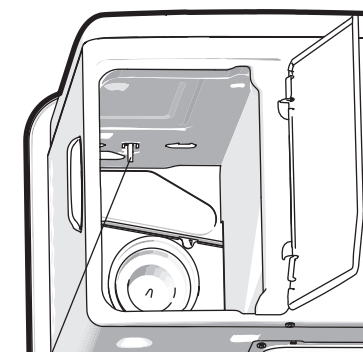
各部のなまえ

外観図

前面

運転中高温になる部分(ご注意ください)

点 点検・手入れが必要な部分

背面

内部(カートリッジタンクを抜いた状態)

点 気密油タンクの給油時消火装置 24ページ

点 ファンフィルター 23ページ

室温センサー 17ページ 26ページ

燃焼・温風空気取入口

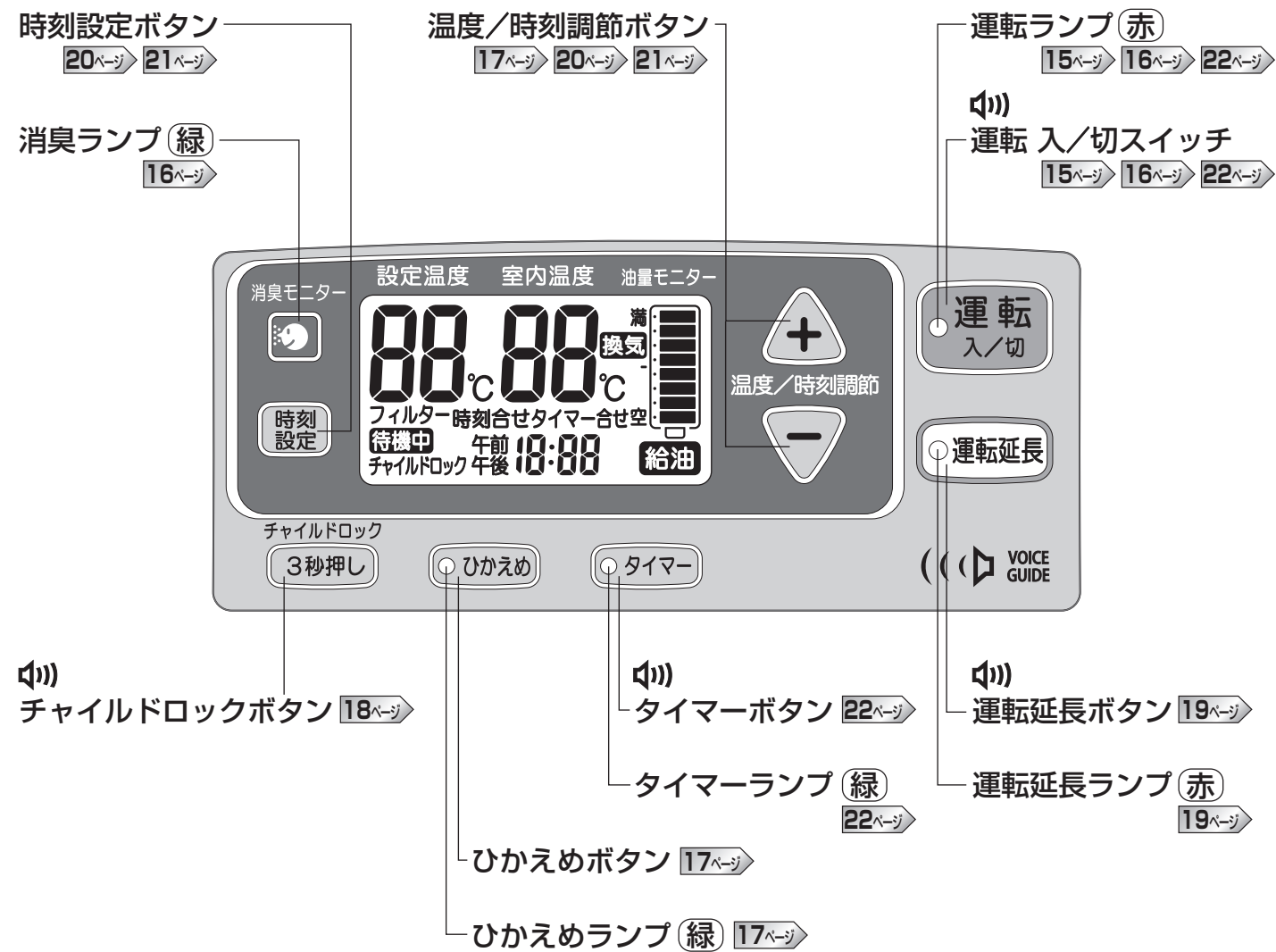
点 電源コード 25ページ

点 電源プラグ 11ページ

スペーサ
水平に倒してお使いください。
カーテンなどで燃焼・温風空気取入口がふさがれるのを防ぎます。

※外観図は機種により若干異なります。

各部のなまえ

操作部

※表示部は説明のため、すべて表示した状態です。使用中に、すべて表示することはありません。

表示部

時計表示
・現在時刻表示 20ページ
・時刻合せ表示 20ページ
・タイマー合せ表示 21ページ 22ページ

※表示部は、運転停止中でも時刻設定、時刻調節（現在時刻・タイマー運転開始時刻合わせ）、チャイルドロックのボタン操作により、バックライトが約10秒間点灯します。
※バックライトの色は、通常「白色」が点灯しますが、給油の２回目のお知らせは「ピンク」が点灯します。
"HHH" エラー発生のときは「赤」の点灯になりますが、その他のエラー発生時は「赤」の点滅になります。

時計表示の説明

音声メッセージについて

ボタンを操作したときや、異常を検知したときなどに音声でお知らせします

○本文中の マークは、音声でお知らせすることを表しています。
○23通りの音声でお知らせします。メッセージの一覧は、9ページをご覧ください。
　音声メッセージによっては、音声メッセージの前に「ピッ」や「メロディー」が鳴ります。

たとえば・・・

運転を開始するとき

給油のお知らせのとき

音声メッセージの消しかた

運転中のみ操作できます。

音声メッセージでお知らせするまで約3秒間押す
（音声メッセージを消してもメロディーは消えません）

再度、音声メッセージを入れるとき

音声メッセージでお知らせするまで約3秒間押す

各部のなまえ

音声メッセージとお知らせするとき

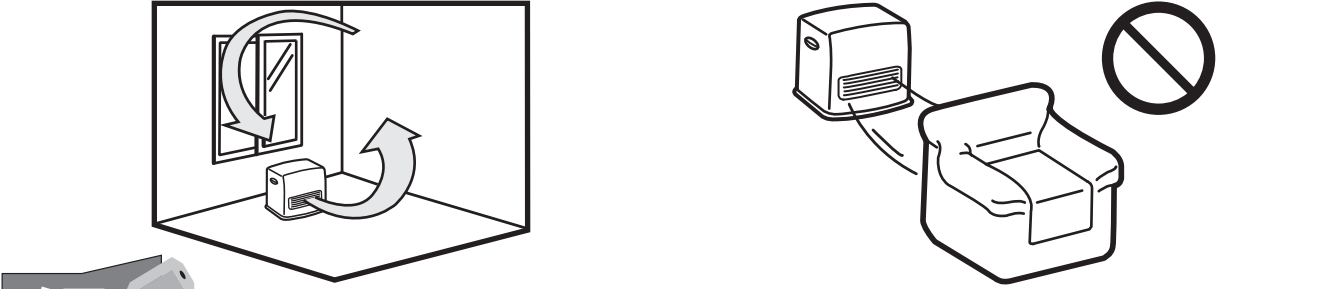
ボタン操作や、異常を検知したときなどは、次のような音声メッセージでお知らせします

音声メッセージ	お知らせするとき	
ピッ 運転を開始します。	運転を開始するとき	15ページ
ピッ 運転を停止します。	運転を停止するとき	16ページ
ピッ 音声メッセージを消します。	音声メッセージを消したとき	8ページ
ピッ 音声メッセージを受け付けました。	音声メッセージを入れたとき	8ページ
♪~♪ まもなく灯油がなくなります。 給油してください。	カートリッジタンクの灯油がなくなったとき （1回目の給油お知らせ）	14ページ
♪~♪ 灯油がなくなりました。 給油してください。	油受皿の灯油が残り少なくなったとき （2回目の給油お知らせ）	14ページ
灯油がなくなりました。	油受皿の灯油がなくなり自動消火したとき	14ページ
ピッ チャイルドロックを受け付けました。	チャイルドロックをセットしたとき	18ページ
ピッ チャイルドロックを解除しました。	チャイルドロックを解除したとき	18ページ
♪~♪ まもなく自動消火します。 延長ボタンを押してください。	運転開始後、3時間が経過する10分前と5分前	19ページ
♪~♪ 自動消火します。	運転開始後、3時間が経過したとき	19ページ
ピッ タイマーを受け付けました。	タイマー運転をセットしたとき	22ページ
ピッ タイマーを解除しました。	タイマー運転を解除したとき	22ページ
タイマー運転を開始します。	タイマー運転を開始するとき	22ページ
♪~♪ まもなくタイマー運転を停止します。	タイマー運転の停止10分前と5分前	22ページ
♪~♪ タイマー運転を停止します。	タイマー運転が停止して自動消火するとき	22ページ
ピピッ 現在時刻を設定してください。	現在時刻を合わせていないときにタイマー運転をセットしようとしたとき	20ページ
ピピッ タイマー時刻を設定してください。	タイマー運転開始時刻を合わせていないときにタイマー運転をセットしたとき	22ページ
振動により消火しました。	対震自動消火装置が作動したとき（E 01）	27ページ
安全装置が働きました。 取扱説明書を確認してください。	室温異常高温防止装置が作動したとき（E 07）	27ページ
安全装置が働きました。 フィルターを掃除してください。	過熱防止装置が作動したとき（E 09）	27ページ
安全装置が働きました。	○停電安全装置が作動したとき（E 00） ○対震自動消火装置が作動したとき（E 01） ○気密油タンクの給油時消火装置が作動したとき（E 11） ○不完全燃焼防止装置が作動したとき（E 13）	27ページ
異常を検知しました。 取扱説明書を確認してください。	上記以外の異常を検知したとき（F 00, HHH など）	27ページ

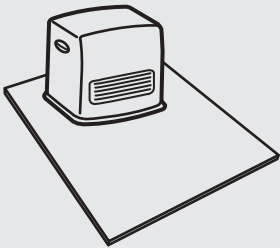
使用する場所

効果的に使用するために

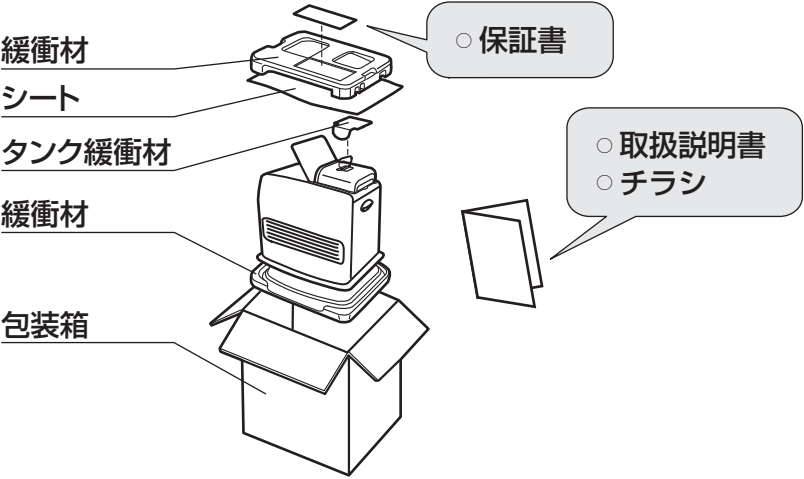
○外気に接する窓の下や壁側に設置する

○温風の循環を妨げない

メモ

○熱に弱い材質の床面（カーペット、木質床、畳など）で長時間使用すると、変色・ひび割れ・そり返りなどが発生することがあります。
また、ほこりやたばこの煙などで変色することもあります。
保護のため、マットなどを敷いて使用してください。

○移動するときは引きずらないでください。カーペット、床面、畳に傷をつけるおそれがあります。

使用前の準備

ファンヒーターの取り出し

包装箱から緩衝材などを取り除き、ファンヒーターを取り出す

メモ

○工場で燃焼検査を行なっているため、油受皿内に灯油が少量残り、灯油臭を感じることがありますが、異常ではありません。

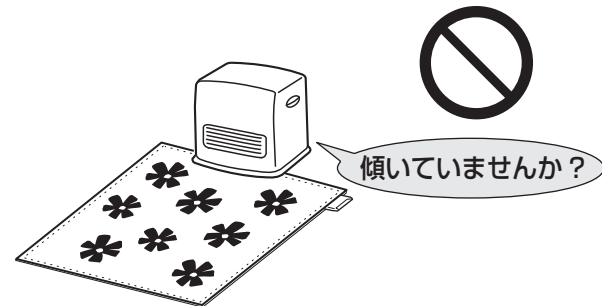
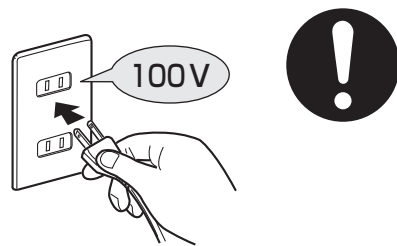
お守りください

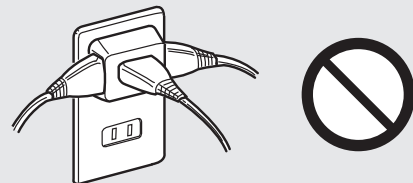
○包装箱と緩衝材は保管時に必要となりますので、大切に保管してください。

使用前の準備

運転開始前の準備と確認

1 水平な場所に設置する

○ファンヒーターが傾いた状態では使用しないでください。
給油サインが誤作動によって点滅したり、予想しない事故が発生するおそれがあります。

2 電源プラグをコンセント（100Ｖ）に差し込む

お守りください

○家庭用電源以外では使用しないでください。
異常燃焼や予想しない事故の原因になります。
○200Ｖ電源には絶対に差し込まないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
○タコ足配線はしないでください。
火災の原因になります。

燃　料

燃料は必ず灯油（ＪＩＳ１号灯油）を使用してください

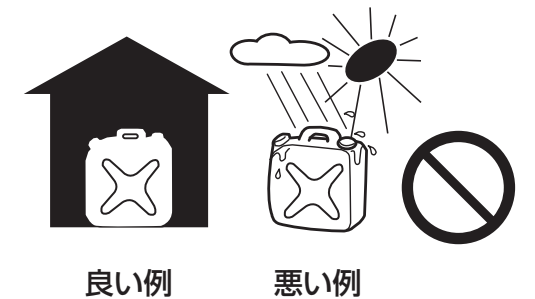
ガソリン、変質灯油、不純灯油は、絶対に使用しないでください。
異常燃焼や故障の原因になります。
（灯油を購入されるときは、ＳＱマークを表示している販売店で購入されることをおすすめします）

灯油とガソリンの見分けかた

指先に燃料をつけて、火の気のないところで息を吹きかけてください。

灯　油	ガソリン
○ ぬれたまま	× すぐ乾く

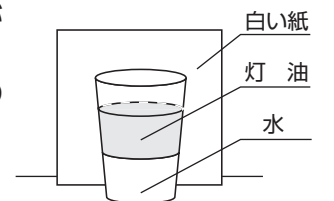
■正しい灯油の保管方法

○火気、雨水、ごみ、高温、直射日光を避けた場所に保管してください。
○容器のふたをしっかり閉めてください。
○容器は必ず灯油専用のものを使用してください。
（乳白色の容器で保管した灯油は変質しやすくなります）
○ホームタンクを使用しているときは、年に数回、水抜きを行なってください。
○ドラム缶での保管は控えてください。気温の変化で栓のすき間から水が混入したり、さびが発生し、異常燃焼や機器の故障の原因になります。やむなくドラム缶で保管するときは、カバーを掛けるなどしてください。給油時は、水・さびなどの混入がないことを確認してください。
○灯油は翌シーズンに持ち越さないでください。

変質灯油・不純灯油とは

■変質灯油

○昨シーズンより持ち越したもの
○高温の場所で長期間保管したもの
○日光のあたる場所で長期間保管したもの
○乳白色のポリ容器で保管していたもの
○容器のふたが開けてあったもの

変質灯油の見分けかた

水より少しでも色がついていたり、すっぱい臭いのするものは変質灯油です。

■不純灯油

○灯油以外の油（ガソリン、シンナー、天ぷら油、機械油、重油、軽油、灯油添加剤など）がほんの少しでも混入したもの
○水やごみ、ドラム缶のさびなどが混入したもの
○灯油水抜剤や助燃剤を添加したもの

変質灯油や不純灯油を使用したときの症状

○臭いが強くなる。
○黄色い炎が混じる。15ページ
○火力が上がらない。
○消火しにくい。
○着火しにくい。
○給油サインが点滅する。
○途中消火する（Ｅ 02, Ｅ 03, Ｅ 13）。

万一変質灯油や不純灯油を使用したときの処置方法

○灯油を抜き、きれいな灯油でカートリッジタンクや油受皿内、油フィルターを洗ってからご使用ください。24ページ 25ページ
○着火・消火を５回程度繰り返してください。
（少し臭いがしますので、換気を十分に行ってください）
○それでも直らないときは修理が必要となります。
お買い上げの販売店にご相談ください。裏表紙

○変質灯油、不純灯油が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。

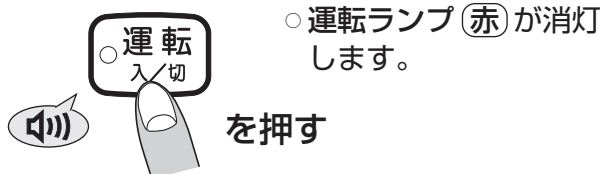
給油のしかた

給油は必ず消火し、火の気のないところで行なってください。
万一の事故を防ぐため、運転中にカートリッジタンクを取り出すと、音声メッセージのお知らせと同時に給油時消火装置が作動し、"E 11"を表示して自動消火します。27ページ

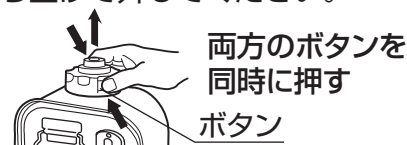
1 運転が停止していることを確認する

○運転中のときは、運転 入/切スイッチを押してください。

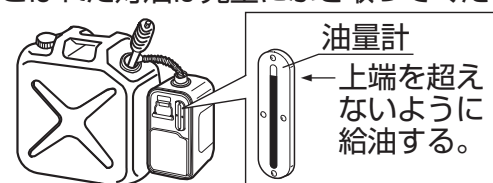
○運転ランプ(赤)が消灯します。

を押す

2 カートリッジタンクを取り出す

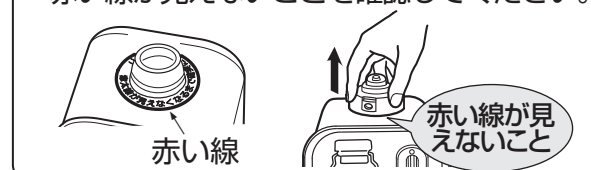
3 口金を外す

○口金の両方のボタンを同時に押して、上に持ち上げて外してください。

○外した口金にごみ、糸くず、ほこりなど付着しないように注意してください。
また、ぶつけたり落としたりしないよう取り扱いに注意してください。

4 給油する

○油量計の上端を超えないよう給油し、灯油をあふれさせたり、こぼしたりしないように注意してください。
○こぼれた灯油は完全にふき取ってください。

5 口金を確実に閉める

○口金外側を上から「カチッ」と音がするまで押してください。また、口金のボタンを押したまま閉めないでください。確実に閉まらず、口金が外れ火災のおそれがあります。

○口金を閉めたあと、軽く引き上げて外れないこと、下図のように斜め上から見てタンクの赤い線が見えないことを確認してください。

○必ず火の気のないところで口金を下にして油漏れがないことを確認してください。
※漏れているときは、口金を交換してください。29ページ

6 カートリッジタンクをセットする

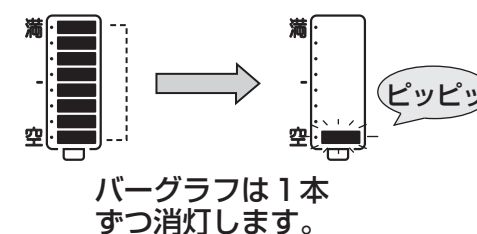
○カートリッジタンクをセットしたあと、ファンヒーターをゆすったりすると、口金の外側が灯油でぬれることがあります。

お守りください

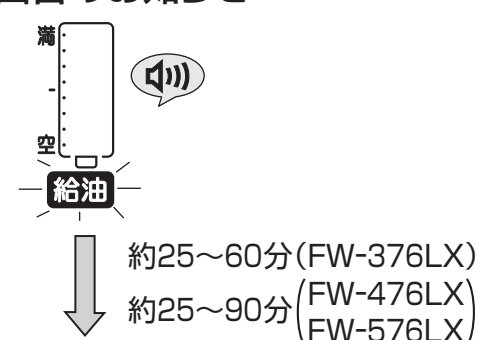
○カートリッジタンクと油フィルターは、機種により異なります。専用のものをご使用ください。
○給油時、口金が外れにくかったり、ボタンに異常を感じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。裏表紙
○口金を閉めたあと、必ず口金を引き上げ外れないことを確認してください。確実に閉めないと口金が外れて、周囲を汚したり、火災のおそれがあります。
○給油時、口金をぶつけないよう、取り扱いに注意してください。口金が変形すると、油漏れのおそれや灯油が出なくなり、給油サインが点滅することがあります。28ページ
なお、カートリッジタンク、口金の変形は、保証期間中でも保証の対象外となります。
○カートリッジタンクは静かに入れてください。落とすように強く入れると、油量モニターの表示の精度が悪くなるおそれがあります。

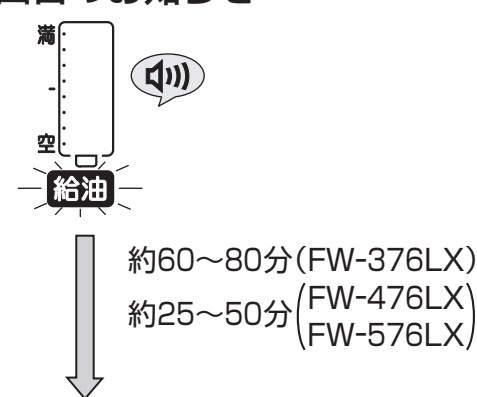
給油の合図

■ 油量モニター……8段階のバーグラフで灯油の残量を確認できます。

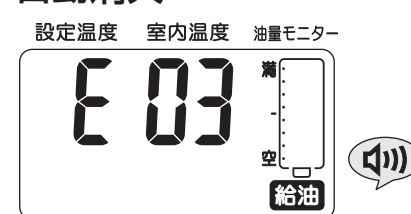
バーグラフは1本ずつ消灯します。

残り約1時間の燃焼が行えないときに次の操作を行うと、バーグラフが点滅すると同時に電子音が鳴って、灯油が残り少ないことをお知らせします。
○運転を開始するため運転 入/切スイッチを押したとき
○運転中に運転延長ボタンを押したとき
○タイマー運転をセットしたとき

■ 給油2段階サイン……給油の合図を2回に分けて音声メッセージと給油サインの点滅でお知らせします。
手が離せないときでも余裕をもって給油が行えます。
(音声メッセージを消すには…8ページ)

1回目のお知らせ

○カートリッジタンクの灯油がなくなると、音声メッセージのお知らせと同時に給油サインがゆっくりと点滅します。

約25~60分(FW-376LX)
約25~90分(FW-476LX、FW-576LX)

2回目のお知らせ

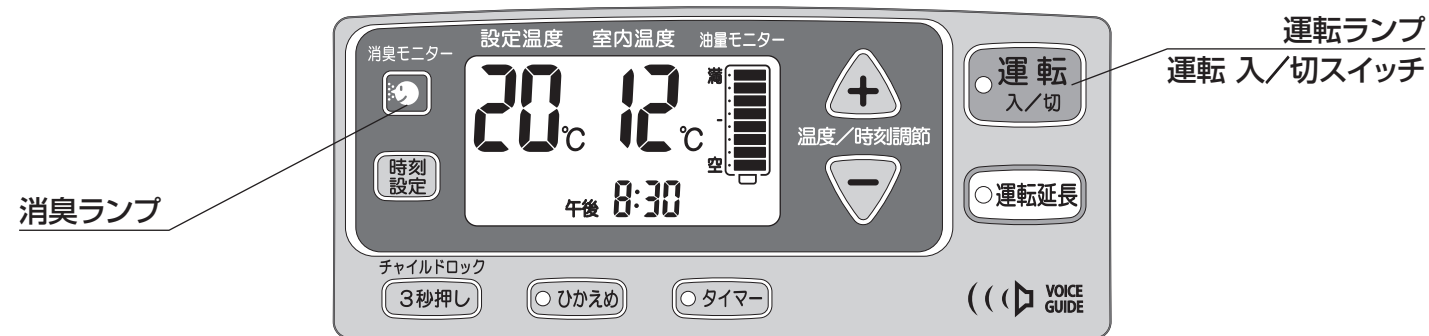
○油受皿の灯油が残り少なくなると、音声メッセージのお知らせと同時に給油サインが速く点滅し、火力が小さくなります。
(バックライトの色は「ピンク」の点灯になります)
設定温度が"Hi"のときは、大火力で燃焼しますので、左の燃焼時間より短くなります。
(1回目のお知らせから 約30分(FW-376LX) 約25分(FW-476LX、FW-576LX))

約60~80分(FW-376LX)
約25~50分(FW-476LX、FW-576LX)

自動消火

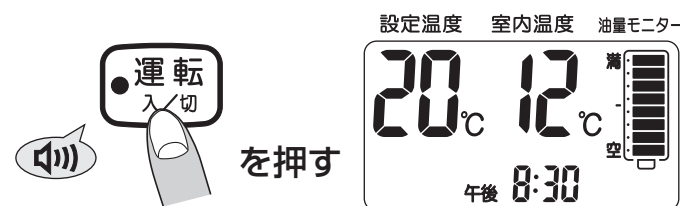
※燃焼時間は火力によって異なります。

○そのまま使用を続けると、油受皿の灯油がなくなり、音声メッセージでお知らせし、"E 03"を表示して自動消火します。
(バックライトの色は「赤」の点滅になります)
使用状況により2回目のお知らせと同時に消火することがあります。
○給油を行い、運転 入/切スイッチを押すと、運転を開始します。

運転を開始するとき

運転ランプ
運転 入／切スイッチ
消臭ランプ

運転 入／切スイッチを押し、運転を開始します

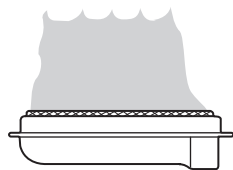
運転停止中に

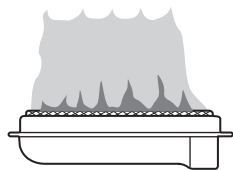
を押す

○運転ランプ(赤)が点灯します。
○設定温度と室内温度を表示します。
・室内温度は、1℃から表示し、0℃以下のときはLoを表示します。

約40秒後に着火します。
(FW-576LX は約45秒)

○着火動作時数秒間、消臭ランプ(緑)が点滅し、設定温度と室内温度により自動的に燃焼量を変え運転します。
○着火するとき「カタン」という電磁弁が開く音がしますが、異常ではありません。

炎確認窓から炎の状態を確認する

○正常燃焼

○青い炎で燃焼する。
○バーナの網が赤くなっていても、炎の中に黄色い炎が現れなければ異常ではありません。

×異常燃焼

○炎の中に常に黄色い炎が現れる。

処置を行なってください。28ページ

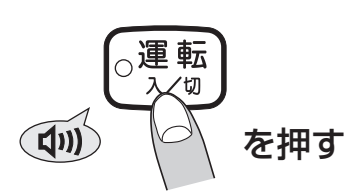
メモ

○初めてお使いになるときは、防錆油や耐熱塗料が焼け、オレンジ色の炎や煙、臭いが出ることがあります。１時間ほどでおさまりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。

運転を停止するとき

運転 入／切スイッチを押し、運転を停止します

運転中に

を押す

○運転ランプ(赤)が消灯し、消臭ランプ(緑)が点滅します。

消臭モニター

約８秒間、消臭ランプ(緑)が点滅後に消火します。

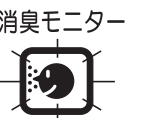
○必ず火が消えたことを確認してください。
○消火するとき「カタン」という電磁弁が閉じる音がしますが、異常ではありません。

お守りください

○消火は必ず運転 入／切スイッチで行なってください。
また、運転停止後３分間は、本体内を冷やすためファンが回っていますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。電源プラグを抜いて消火したり、消火後すぐに電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

消臭機能

消臭モニター

着火するときや消火するときに発生する臭いの原因となる未燃ガスの発生を抑える機能です。
消臭機能が動作しているとき、消臭ランプ(緑)が点滅してお知らせします。

着火するとき

○運転 入／切スイッチを押すと、着火動作時数秒間、未燃ガスの発生を抑えています。

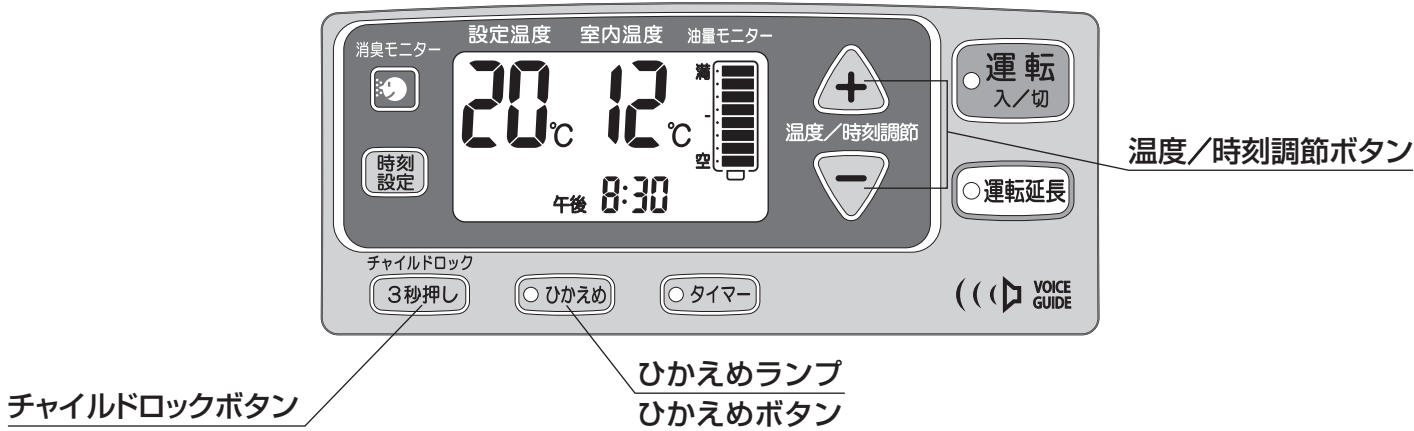
消火するとき

○運転 入／切スイッチを押すと、約８秒間、未燃ガスを燃焼させてから消火します。
○異常停止や短時間での運転では消臭機能は動作しません。

設定温度を上げるとき・下げるとき

温度／時刻調節ボタン

チャイルドロックボタン

ひかえめランプ
ひかえめボタン

温度／時刻調節ボタンを押し、設定温度を調節します

○室内温度を目安に設定温度を調節してください。
○設定温度は 12〜30℃の範囲と、Lo(常に小火力)、Hi(常に大火力)に調節できます。

設定温度を上げるとき

運転中に

20 ⇨ 21 ⇨ 30 ⇨ Hi

を押す

ポピッ

○ 1回押すごとに1℃ずつ上がります。

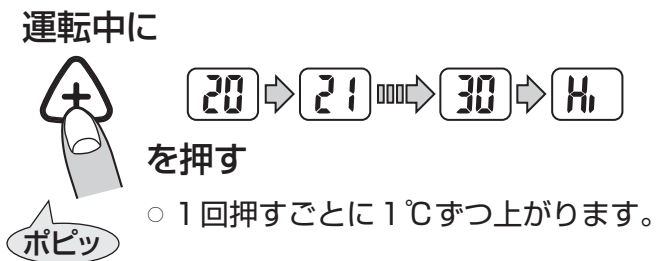
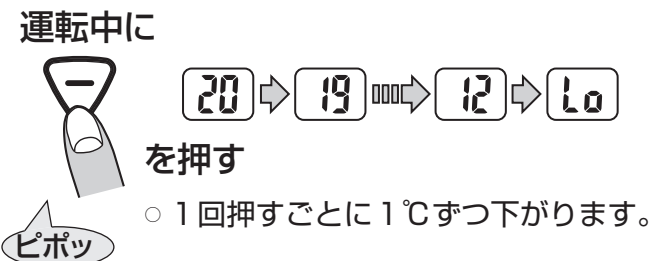
設定温度を下げるとき

運転中に

20 ⇨ 19 ⇨ 12 ⇨ Lo

を押す

ピポッ

○ 1回押すごとに1℃ずつ下がります。

ひかえめ運転

ファンヒーターがお部屋の暖まり具合を自動的に判断し、身体に感じる温度を変えることなく、暖かさを保つよう燃焼量を抑え運転します。また、狭い部屋や断熱のよい部屋で使用したり、秋口・春先など外気温が比較的高いときに室内温度が上がり過ぎると、燃焼を自動で入・切します。

ひかえめ運転にするとき

運転中に

を押す

○ひかえめランプ(緑)が点灯します。

○待機中表示が点灯し自動消火します。

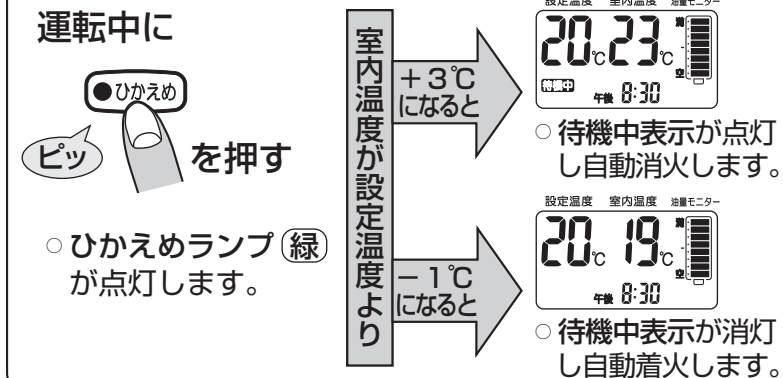
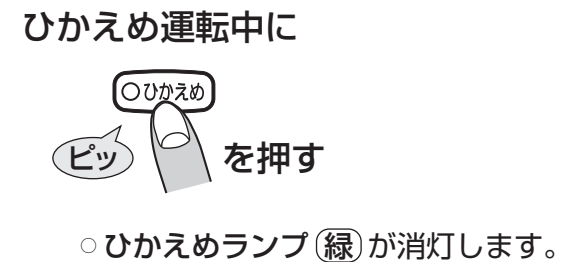
○待機中表示が消灯し自動着火します。

ひかえめ運転を解除するとき

ひかえめ運転中に

を押す

○ひかえめランプ(緑)が消灯します。

メモ

○室内温度の表示は、室内平均温度の目安です。設置方法などにより寒暖計の温度とは一致しないことがあります。
○バックアップ機能によりセットした設定温度やひかえめ運転は、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも記憶されています。再度、設定する必要はありません。

チャイルドロックを使用するとき

チャイルドロックをセットする

小さなお子さまのいたずらや、運転誤操作を防止したいときにお使いください。

チャイルドロックボタンを押し、セットします

運転中、運転停止中のどちらでもセットできます。

をピッと鳴るまで約3秒間押す

○チャイルドロックサインを表示します。

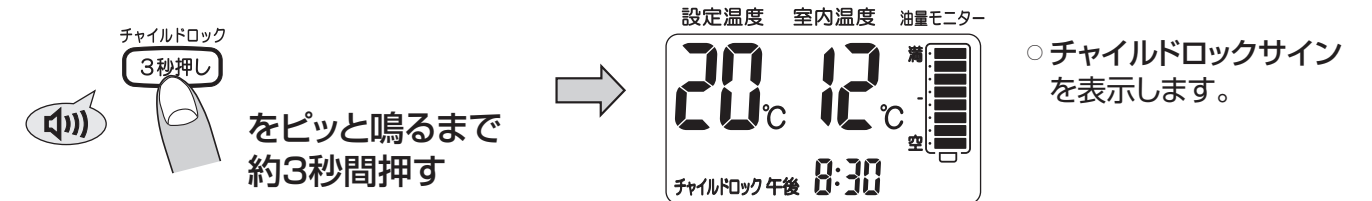
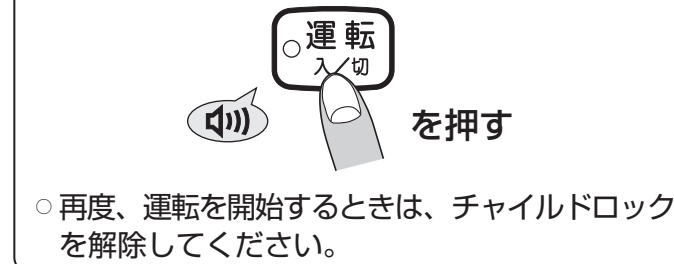
運転中のとき

運転を停止できる

を押す

○再度、運転を開始するときは、チャイルドロックを解除してください。

運転を延長できる

を押す

運転停止中のとき

チャイルドロックの解除以外は、操作ができなくなります。

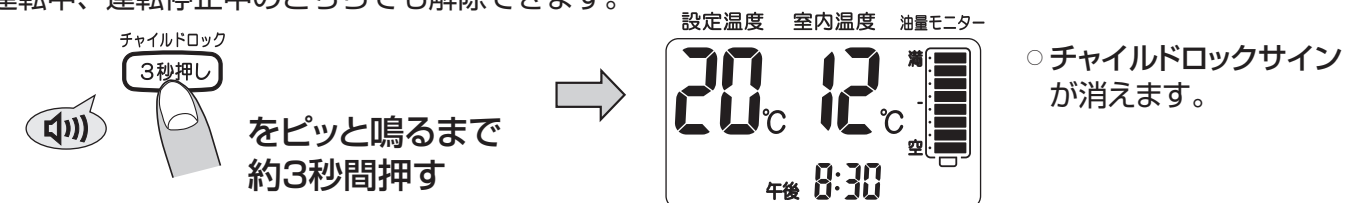
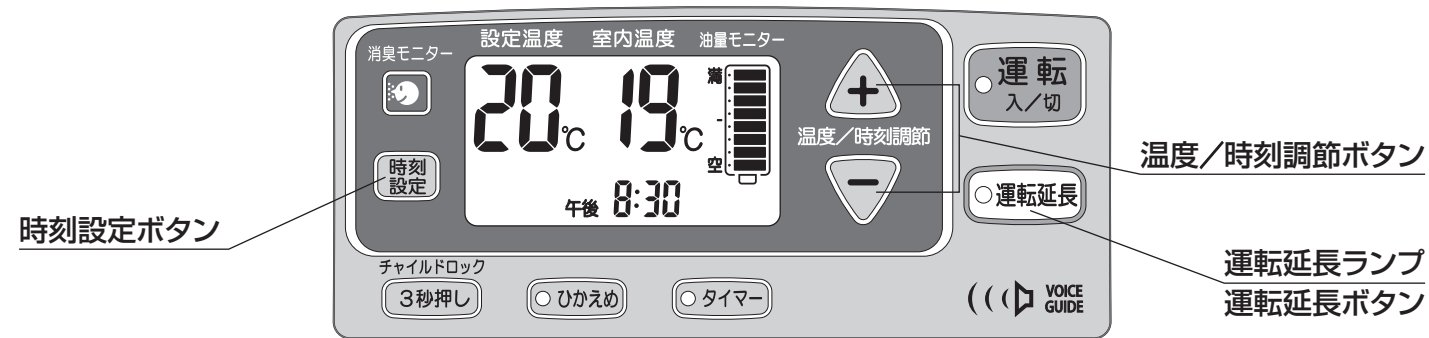
○バックアップ機能によりセットしたチャイルドロックは、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも記憶されています。再度、セットする必要はありません。

チャイルドロックを解除する

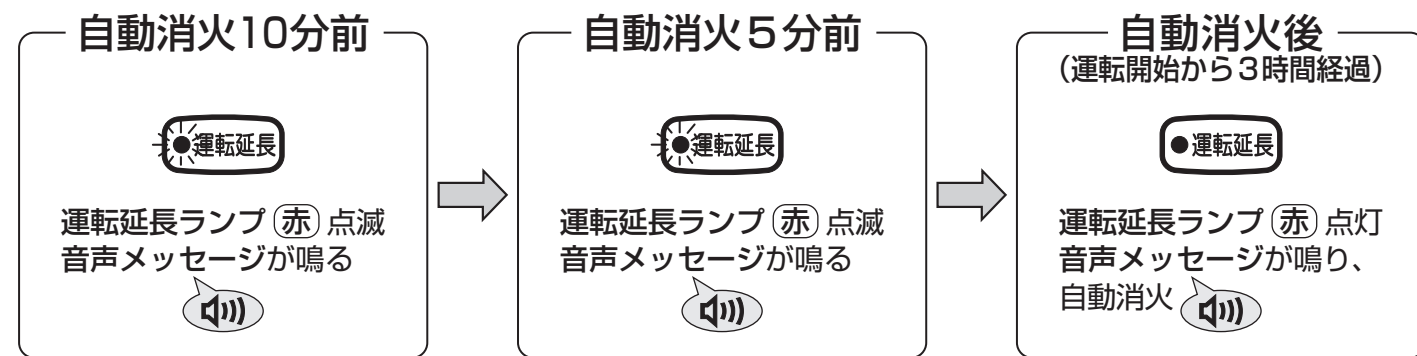
チャイルドロックボタンを押し、解除します

運転中、運転停止中のどちらでも解除できます。

をピッと鳴るまで約3秒間押す

○チャイルドロックサインが消えます。

運転を延長・継続するとき

消し忘れによる万一の事故を防ぐため、運転開始後、３時間で自動消火します

燃焼残り時間をお知らせするとき

３時間で自動消火する前に、運転延長ランプ（赤）と音声メッセージでお知らせします
（音声メッセージを消すには･･･ 8ページ）

自動消火せずに運転を継続するとき

運転中に

を押す

○燃焼残り時間のお知らせに関係なく、運転延長ボタンを押したときから、さらに３時間運転を継続します。

お守りください

○継続して長時間運転するときは、お部屋の換気に十分注意してください。1ページ
○寝るときや外出するときは、消し忘れ消火装置には頼らず、必ず運転 入／切スイッチで消火してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

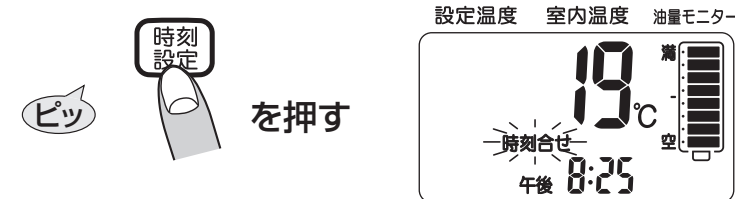
現在時刻を合わせるとき

タイマー運転を使用するときは、現在時刻が合っているか確認してください

時計は工場出荷時に合わせていますが、多少ずれることがあります。時刻がずれているときは、次の手順で合わせてください。
現在時刻合わせは、運転中、運転停止中のどちらでも行えます。

現在時刻を午後８時30分に合わせるとき

1 時刻合せ表示にする 8ページ

を押す

○時刻合せ表示が点滅します。

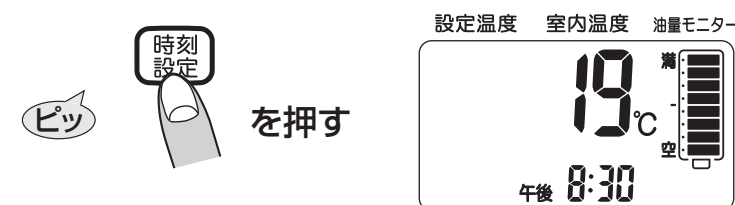
2 現在時刻を合わせる

または ▽ を押す

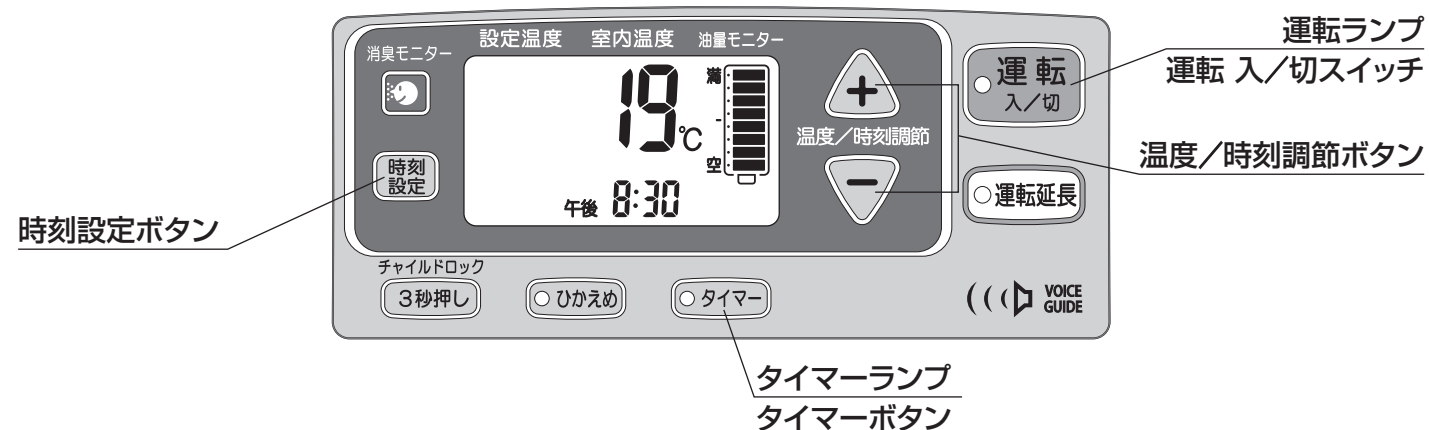
○午前・午後をまちがえないように注意してください。
（昼の12時は 午後12:00、
夜の12時は 午前12:00 です）

△を押すと１分進み、▽を押すと１分戻ります。
△または▽をしばらく押し続けると10分単位で早送りができます。

3 現在時刻表示にする

を押す

○現在時刻表示になるまで、時刻設定ボタンを押してください。

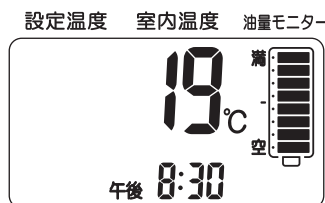
○バックアップ機能により１度セットした時刻は、電源プラグをコンセントから抜いたり、 停電したときでも記憶されていますので、再度、セットする必要はありません。

タイマー運転を使用するとき

タイマー運転開始時刻をセットする

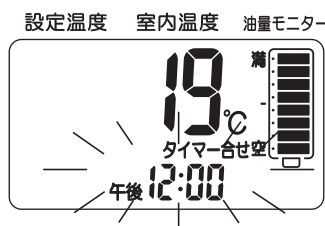
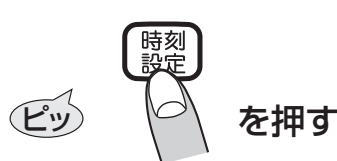
タイマー運転を使用するときは、タイマー運転開始時刻を合わせてください

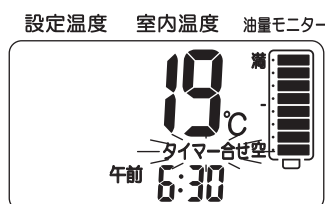
現在時刻合わせ、タイマー運転開始時刻合わせは運転中、運転停止中のどちらでも行えます。

タイマー運転開始時刻を午前６時30分にするとき

1 現在時刻が合っていることを確認する

○現在時刻の合わせかたは、20 ページを参照してください。

2 タイマー合せ表示にする 8ページ

を押す

○１度、タイマー運転開始時刻を合わせると、時計表示は点灯します。

3 タイマー運転開始時刻を合わせる

または　を押す

設定温度　室内温度　油量モニター　満　タイマー合せ　空　午前 6:30

○午前・午後をまちがえないように注意してください。

（昼の12時は 午後12:00 、
夜の12時は 午前12:00 です）

＋を押すと１分進み、－を押すと１分戻ります。

＋または－をしばらく押し続けると10分単位で早送りができます。

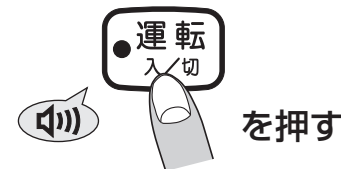
4 運転状態にする

○運転中は、運転 入／切スイッチを押す必要はありません。

を押す

○運転ランプ（赤）が点灯します。

5 タイマー運転待機中にする

を押す

○運転ランプ（赤）が消灯し、タイマーランプ（緑）が点灯すると、セットが完了します。

○タイマー運転のセットをしてから運転 入／切スイッチを押すと、タイマー運転が解除されますので、ご注意ください。

○１度、タイマー運転開始時刻を合わせると、次回からは **4** 、**5** を行うだけで同じ時刻に運転が開始できます。

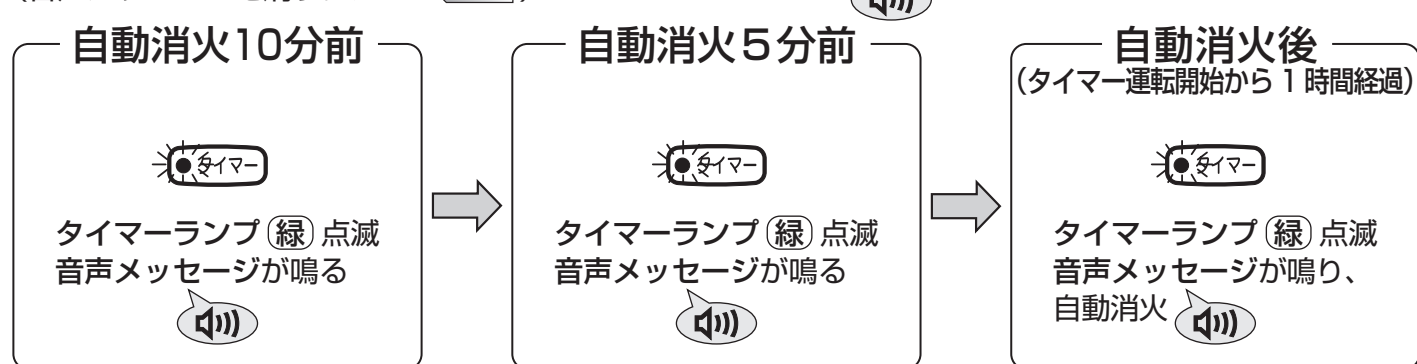
○カートリッジタンクを取り出したり、地震や強い振動、衝撃を受けたことにより安全装置が作動したときは、もう１度 **4** からセットしてください。

セットした時刻になるとタイマー運転開始

セットした時刻になると自動的にタイマー運転を開始し、安全のため１時間で自動消火します。自動消火する前にタイマーランプ（緑）と音声メッセージでお知らせします。

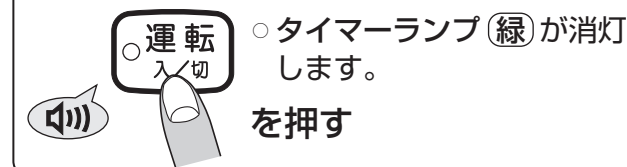
（音声メッセージを消すには･･･ 8ページ）

自動消火後
（タイマー運転開始から１時間経過）

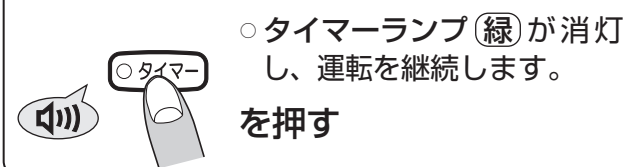
タイマーランプ（緑）点滅
音声メッセージが鳴り、
自動消火

自動消火せずに運転を継続するときは、タイマーボタンを押し、タイマー運転を解除してください。

タイマー運転を解除する

タイマー運転待機中

を押す

○タイマーランプ（緑）が消灯します。

タイマー運転中

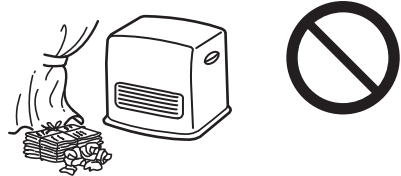
を押す

○タイマーランプ（緑）が消灯し、運転を継続します。

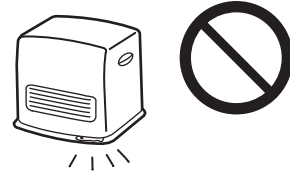
日常の点検・手入れのしかた

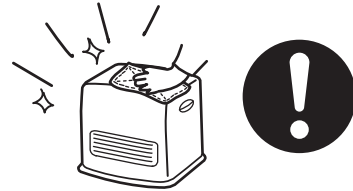
お守りください

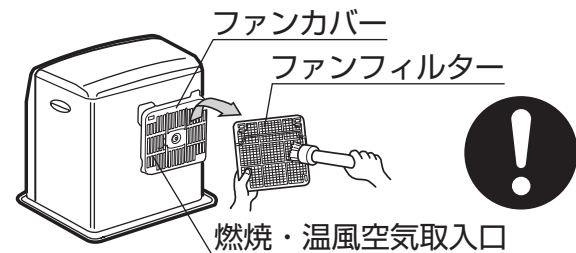
○点検・手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、本体が冷えてから電源プラグをコンセントから抜き、点検・手入れを行なってください。また、分解はしないでください。
火災ややけどのおそれがあります。

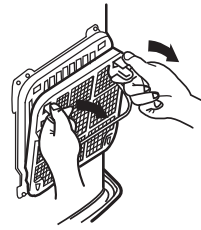
ご使用のたびに

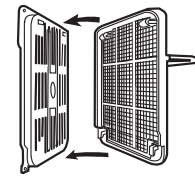
本体の周辺に可燃物はないか

油漏れ、油のたまり、油のにじみはないか

異常があるときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

本体のごみやほこりをふき取る

柔らかい布でからぶきするか、うすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいてください。
本体をベンジン・シンナーなどでふかないでください。

週に１回以上は

ファンフィルターのほこりを取る

汚れがひどいときは、洗剤などを使って浸け置きし、水で洗い流してください。

ファンフィルターの外しかた

上のツマミを押し、手前に持ち上げる。

ファンフィルターの取り付けかた

下のツメをはめてから上部を押す。

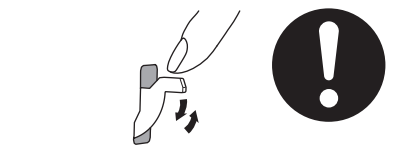
お守りください

○ファンカバーからファンフィルターを取り外してお手入れするときは、ファンフィルターに強い力をかけないでください。
ファンフィルターが破損することがあります。

１カ月に１回以上は

安全装置の点検をする

対震自動消火装置　燃焼中に本体をゆすり、消火するか確認してください。消火しないときは修理が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

気密油タンクの給油時消火装置　カートリッジタンクを取り出し、本体内部のレバーを下に押し、指を離したときにもとに戻るか確認してください。正常に動かないときは修理が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

（レバーの位置は6ページを参照）

油受皿内の点検をする

カートリッジタンクに直接水を混入しなくても、設置場所の温度変化などで結露によりホームタンクやカートリッジタンク内に水がたまり、油フィルター・油受皿内に流入することがあります。水が混入していたときは、25ページの **2** に従い、水を取り除いてください。
また、ホームタンクを使用しているときは、年に数回、水抜きを行なってください。

油受皿内に水が混入すると

- 給油サインの点滅が止まらない
- 着火ミスしたり、異常停止する（E 02，E 03）

油フィルターの点検・掃除をする

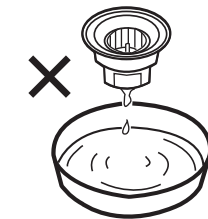
以下の手順に従い、点検・掃除を行なってください。

油フィルターに水やごみがたまっていると

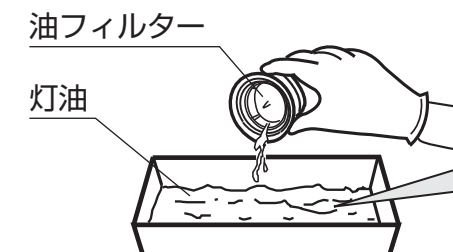
- 給油サインの点滅が止まらない

1 油フィルターを取り出して確認する
（取り出すときは、灯油などで床や衣服を汚さないよう注意してください）
○油フィルターに灯油を入れ、持ち上げる。

○ 灯油が連続的に落ちる。（油フィルターには少量の灯油が残ります）

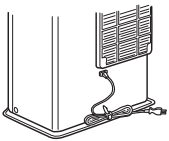
正常です。

× 灯油の落ちが悪い。または全く落ちない。（油フィルターに灯油が多く残っている）

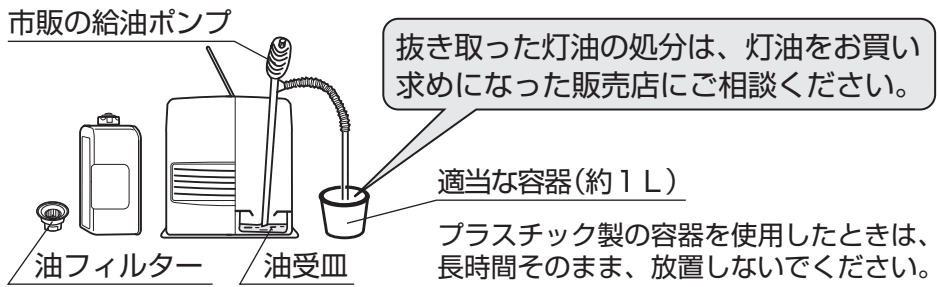
2 に従い、掃除してください。

2 油フィルターは、きれいな灯油ですすぎ洗いし、よく乾燥させる
○油フィルターは、きれいな灯油ですすぎ洗いし、ごみなどを取り除き、布などで灯油をふき取ったあと、日陰に置いてよく乾燥させてください。
油フィルターに水分が残っていると、灯油が落ちず、**給油サイン**が点滅します。

洗浄後の灯油の処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。洗浄後の灯油を使用すると故障の原因になります。

保管（長期間使用しないとき）・廃棄のしかた

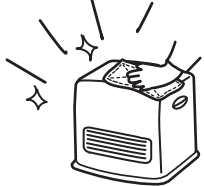
次の手順に従ってファンヒーターを保管してください

1 電源コードを束ねる

2 カートリッジタンク・油受皿内の灯油を抜く

○油フィルターを取り除き、市販の給油ポンプなどで、油受皿内の灯油やごみ、水を抜いてください。（給油ポンプの先を平らにカットすると、抜き取りやすくなります）

○別売のスポイトを用意しています。スポイトを使用すると、市販の給油ポンプで抜けきらなかった灯油が抜き取りやすくなります。29ページ

スポイト
173円
（本体価格 165円）

3 ファンフィルター・油フィルターの掃除をする 23ページ 24ページ

4 本体の汚れをふき取る 23ページ

5 ファンヒーターを包装箱に入れる

○湿気の少ない場所に保管してください。

お守りください

○ファンヒーターを傾けたり、横倒しの状態で保管しないでください。
抜けきれなかった灯油が漏れ、火災のおそれがあります。
○カートリッジタンク・油受皿内の灯油を抜かずに保管すると、灯油が変質し、故障のおそれがあります。
○灯油は翌シーズンに持ち越さず、使いきるようにしてください。

廃棄するとき

○ファンヒーターを廃棄処分するときは、各自治体の指示に従ってください。
○必ずカートリッジタンク・油受皿内の灯油を市販の給油ポンプなどで抜いてください。
灯油が入ったまま廃棄すると、リサイクルの際、思わぬ事故になるおそれがあります。
○灯油の処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

故障・異常の見分けかたと処置のしかた

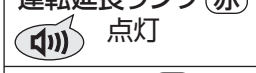
修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前にもう１度ご確認ください。

○着火時

症　状	原　因
すぐ着火しない	○予熱時間が約40秒必要です（FW-576LXは約45秒）。 ○給油直後は灯油が送油経路に回るまで時間がかかります。 ２、３回着火動作を繰り返してください。
「カタン」と音がする	着火するための動作音です。 異常ではありません。
初めて使用するときや灯油がなくなり、再び着火するとき白煙が出る	灯油の気化ガスがバーナに充分回らないと、このような症状が出ることがありますが、異常ではありません。

○燃焼時・消火時

症　状	原　因
初めて使用するときオレンジ色の炎や煙、臭いが出る	防錆油や耐熱塗料が焼けるためです。１時間ほどでおさまりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。
炎の色がピンク、またはオレンジ色になる	超音波式の加湿器を使用すると起こります。水に含まれるカルシウム分による反応です。
炎の色がときどきチラチラと赤くなる	空気中のほこりが燃えるためです。
バーナの網が赤くなる	炎の中に常に黄色い炎が現れなければ、異常ではありません。
設定温度を高めに設定しても室内温度が上がらない	部屋が広すぎるときに起こります。
室内温度が設定温度より高くなる	狭い部屋や断熱のよい部屋で使用したり、秋口・春先など外気温が比較的高いときに室内温度が上がり過ぎてしまうことがあります。そのときは**ひかえめ運転**にしてください。17ページ
室内温度表示が部屋の寒暖計と一致しない	室内温度の表示は、室内平均温度の目安です。設置方法などにより寒暖計の温度とは一致しないことがあります。
運転中や消火直後に「ポコ」、「パキッ」などの音がする	金属が熱により膨張・収縮するためです。 異常ではありません。
運転停止後、約８秒後に「カタン」と音がする	消火時の動作音です。 異常ではありません。
本体側面やカートリッジタンクが熱くなる	燃焼熱により熱くなりますが、異常ではありません。

故障・異常の見分けかたと処置のしかた

異常の原因と処置のしかた

何らかの異常で表のようなエラー表示や症状が現れたときは、適切な処置を行なってください

表示部(エラー表示)	原　因(安全装置)	処　置　方　法
E 00 ※1	○電源プラグが抜けたため、自動消火した。 ○一時停電したため、自動消火した。 **(停電安全装置が作動)**	電源プラグを確実にコンセントに差し込み、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 11ページ
E 01 ※1	○本体を傾けたため、自動消火した。 ○地震(約震度５以上)や強い振動、衝撃を受けたため、自動消火した。 **(対震自動消火装置が作動)**	○水平な場所に設置する。 11ページ ○周囲の可燃物、機器の損傷、油のあふれなど異常がないことを確認したあと、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
E 02 ※1 E 03 ※1	油フィルターや油受皿内に水やごみがたまったため、着火ミスしたり、自動消火した。 **(点火安全装置が作動)** **(燃焼制御装置が作動)**	○カートリッジタンクや油フィルター、油受皿内の水やごみを取り除き、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 24ページ 25ページ ○処置を行なっても繰り返し作動するときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 裏表紙
E 07 ※1	室内温度が異常に高温(40℃以上)になったため、自動消火した。 **(室温異常高温防止装置が作動)**	設置方法を確かめ、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
E 09 フィルター ※1 フィルター	燃焼・温風空気取入口やファンフィルター、温風吹出口が物でふさがれたり、ほこりがたまったため、自動消火した。 **(過熱防止装置が作動)**	○燃焼・温風空気取入口やファンフィルター、温風吹出口の障害物を取り除き、掃除したあと、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 ○処置を行なっても繰り返し作動するときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 裏表紙
E 11 ※1	○運転中にカートリッジタンクを取り出したため、自動消火した。 ○カートリッジタンクが未セットのまま、**運転 入/切スイッチ**を押したため、自動消火した。 **(気密油タンクの給油時消火装置が作動)**	カートリッジタンクをセットし、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 13ページ
E 13 換気 ※1	密閉した部屋で使用したとき、不完全燃焼(部屋の空気の異常状態)を防止するため、自動消火した。 **(不完全燃焼防止装置が作動)**	部屋の空気を入れ替えてから**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 (使用中は必ず１時間に１～２回換気する) 1ページ
	シリコーン配合商品の使用により、燃焼部にシリコン酸化物が付着したため、自動消火した。 3ページ	お買い上げの販売店にご相談ください。 裏表紙
HHH (１秒点滅) ※2	換気しないで使用を続け、不完全燃焼防止装置が連続して４回以上作動したため、自動消火した。 **(不完全燃焼通知機能が作動)**	○部屋の空気を入れ替えてから電源プラグをコンセントに差し直し、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 ○繰り返し作動するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 裏表紙
HHH (0.2秒点滅) ※2	さらに不完全燃焼防止装置が３回作動したため、自動消火し、点火できなくなった。 **(再点火防止機能が作動)**	点検・修理が必要です。 お買い上げの販売店にご相談ください。 裏表紙
運転延長ランプ(赤)点灯	燃焼を開始してから３時間が経過したため、自動消火した。 **(消し忘れ消火装置が作動)**	**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 19ページ
運転ランプ(赤)点滅 運転延長ランプ(赤)点滅 Err ※1	**運転 入/切スイッチ**が押し続けられたため、自動消火した。	表示・操作部周辺の障害物を取り除き、電源プラグをコンセントに差し直してから**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
上記以外のエラー (例：F 00) ※1	点検・修理が必要な故障です。	表示内容を控えたあと、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。 裏表紙

※1のエラー表示のときは、バックライトの色は「赤」の点滅になります。
※2のときは、バックライトの色は「赤」の点灯になります。

症　状	原　　因	処　置　方　法
ボタンを押しても反応しない	チャイルドロックがセットされている。	チャイルドロックを解除する。 18ページ
	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込む。
換気サインの点滅が止まらない	部屋の換気が不十分。	換気を十分に行う(使用中は必ず１時間に１～２回換気する)。 1ページ
	シリコーン配合商品の使用により、燃焼部にシリコン酸化物が付着した。 3ページ	お買い上げの販売店にご相談ください。 裏表紙
給油サインの点滅が止まらない	灯油がなくなった。	給油する。 13ページ
	本体が傾いている。	水平な場所に設置する。 11ページ
	カートリッジタンクが変形している。	油フィルターに灯油がたまっていないときは、カートリッジタンクを新しいものと交換する。 29ページ
	カートリッジタンクが間違っている。	本体専用のカートリッジタンクを使用する。 5ページ
	油フィルターや油受皿内に水やごみがたまっている。	カートリッジタンクや油フィルター、油受皿内の水やごみを取り除き、油フィルターは水分をよく乾燥させる。 24ページ 25ページ
火力が上がらない	**給油サイン**が点滅している。	
	給油サインが点滅している。	給油する。 13ページ
	変質灯油・不純灯油を使用した。 12ページ	○灯油を抜き、きれいな灯油でカートリッジタンクや油受皿内、油フィルターを洗う。 24ページ 25ページ ○着火・消火を５回程度繰り返す。 (少し臭いがしますので、換気を十分に行なってください 1ページ)
異常燃焼を起こす 15ページ	変質灯油・不純灯油を使用した。 12ページ	
	ファンフィルターにほこりがたまった。	ファンフィルターの掃除をする。 23ページ
臭いが強い	変質灯油・不純灯油を使用した。 12ページ	灯油を抜き、きれいな灯油でカートリッジタンクや油受皿内、油フィルターを洗う。 24ページ 25ページ
	灯油がこぼれたり、漏れている。	使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 裏表紙
油が漏れている	カートリッジタンクを入れたまま移動した。	
	不純灯油を使用した。 12ページ	
電源プラグを差し直すと、時計表示が「- --」になる	バックアップ用電池の寿命です。	お買い上げの販売店にご相談ください。 裏表紙 電池がなくなっても、バックアップ機能が働かないだけで、現在時刻を合わせれば通常どおり使用できます。

処置を行なっても直らないとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。 裏表紙
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

故障・異常の見分けかたと処置のしかた
点検・その他

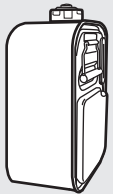
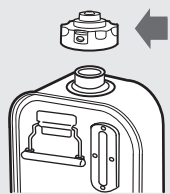
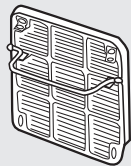
部品交換のしかた

部品交換が必要なときは、お買い上げの販売店、または(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)、または技術講習会修了者(点検整備士)のいる販売店などにご依頼ください。

お守りください

○修理・部品交換は、お客様自身では絶対に行わないでください。けがややけどのおそれがあります。

部品のご注文のしかた

次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。その際は、型式の呼び・部品名をはっきりとお伝えください。また、インターネットでもご注文ができます。裏表紙

この価格は本ファンヒーター用です。
また、価格は予告なく変更することがあります。
その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

定期点検のおすすめ

2シーズンに1回の定期点検(有料)をおすすめします

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。
点検を受けないと、予想しない事故が発生するおそれがあります。
未然に事故を防止するため、シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店、または修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)〕で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

愛情点検 長年ご使用のファンヒーターの点検を！

こんな症状はありませんか	・油漏れする。 ・強い臭いがする。 ・運転中に異常な音がする。 ・その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

部品交換のしかた・部品のご注文のしかた・定期点検のおすすめ
点検・その他

仕　様

型式の呼び		FW-376LX	FW-476LX	FW-576LX
種類		気化式・強制通気形・強制対流形		
点火方式		ヒータ点火		
使用燃料		灯油(JIS 1号灯油)		
燃料消費量	最大	3.70 kW(0.360 L/h)	4.70 kW(0.457 L/h)	5.70 kW(0.554 L/h)
	最小	0.74 kW(0.072 L/h)	0.91 kW(0.088 L/h)	1.23 kW(0.120 L/h)
暖房出力	最大	3.70 kW	4.70 kW	5.70 kW
	最小	0.74 kW	0.91 kW	1.23 kW
騒音(正面)	大火力	37 dB	39 dB	41 dB
	小火力	24 dB	24 dB	25 dB
油タンク容量		9.0 L		
燃焼継続時間	大火力	25.0 時間	19.7 時間	16.2 時間
	小火力	125.0 時間	102.3 時間	75.0 時間
標準適室	木造	16.5 m²(10畳)	20.0 m²(12畳)	25.0 m²(15畳)
	コンクリート	21.5 m²(13畳)	28.0 m²(17畳)	33.0 m²(20畳)
外形寸法(高さ×幅×奥行)		445 mm×430 mm×357 mm(置台を含む)	445 mm×466 mm×349 mm(置台を含む)	
質量		約 11.8 kg	約 12.5 kg	
電源電圧及び周波数		AC100 V　50/60 Hz		
定格消費電力	最大	390/390 W(点火初期に短時間発生)		420/420 W(点火初期に短時間発生)
	燃焼時	129/129 W(大火力時)	153/153 W(大火力時)	191/191 W(大火力時)
		62/ 62 W(小火力時)	70/ 70 W(小火力時)	80/ 80 W(小火力時)
	待機時	1.0/1.0 W		
安全装置		停電安全装置、対震自動消火装置、燃焼制御装置、点火安全装置、不完全燃焼防止装置 過熱防止装置、消し忘れ消火装置、気密油タンクの給油時消火装置		
その他の装置		室温異常高温防止装置		

保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談、別売部品の購入などは、お買い上げの販売店にご相談ください

保証について

●保証書(別添付)

○保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
○内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間は、お買い上げ日から本体3年間です。なお、消耗部品(油フィルター、ファンフィルター)の取り替えは、保証期間中でも有料となります。他にも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

仕様・保証とアフターサービス
点検・その他

保証とアフターサービス（つづき）

補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本ファンヒーターの補修用性能部品は、製造打切り後９年保有しています。

修理を依頼されるときは

○「故障・異常の見分けかたと処置のしかた」に従ってお調べください。26ページ 27ページ 28ページ
○処置を行なっても直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのときは、右の事項をご連絡ください。

品　　名：ダイニチブルーヒーター
型式の呼び：本体側面に表示
お買い上げ日：保証書に記載
故障の症状：エラー表示など、できるだけ詳しく

●保証期間中

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

●修理料金

技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

お守りください

○修理などでファンヒーターを運搬するときは、必ずカートリッジタンク・油受皿内の灯油を抜いてください。
運搬の途中で灯油がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。25ページ

ご相談窓口（使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談、別売部品の購入など）

お客様ご相談窓口（通話料無料）
TEL 0120-468-110
FAX 0120-468-220
＜受付時間＞
11月～ 1月 9：00～19：00
（土は～17：00、日・祝日・年末年始は休み）
2月～10月 9：00～12：00、13：00～17：00
（土・日・祝日は休み）

インターネットからのお問い合わせ
＜24時間受付＞

「お客様サポート/お問い合わせ」
http://www.dainichi-net.co.jp/support/

※型式の呼び（本体側面に表示）をご確認のうえ、ご連絡ください。

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1. ダイニチ工業株式会社（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
　①修理やその確認業務を委託する場合
　②法令の定める規定に基づく場合
3. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。

ダイニチ工業株式会社
〒950-1295 新潟市南区北田中 780-6
ホームページ　http://www.dainichi-net.co.jp/

FW－376LX・7・00,000・1